

# SynchROID 11.1.0.6について

- 1. 11.1.0.6について**
2. バージョンアップ時のロボットへの影響について
3. 既知の事象について

# 11.1.0.6について

**11.1.0.6は、11.1.0.4で発生している不具合を修正したバージョンとなります。また、その他の機能については11.1.0.4から変更はありません。**

**11.1.0.6で発生した不具合は下記の通りです。**

項番	機能	事象	発生バージョン	修正バージョン
1	MC	複数のロボットを同時実行すると実行に失敗したり実行中のまま停止できなくなる	11.1.0.4	11.1.0.6
2	MC	「RoboServer」タブで実行中のロボットを停止できない	11.1.0.4	11.1.0.5

---

1. 11.1.0.6について

**2. バージョンアップ時のロボットへの影響について**

3. 既知の事象について

# 11.1.0.6へバージョンアップ時のロボットへの影響

11.1.0.4へバージョンアップした場合、下位バージョンで作成したロボットで影響が判明している事象は下記の通りです。

No.	11.1.0.6移行時のDesignStudio日本語版での事象	影響バージョン	障害対応状況
①	読み取り専用で開いたExcel(View As Excel)に対して「Set Current Window」を行った際に、「Set Current Window」ステップのウィンドウ名称がv11では「View」に変更された。10.3.xから10.7.xの日本語版DSでは「表示」となっているため、対象のバージョンのロボットを11.1.0.6に移行した場合エラーとなる。	10.3.x 10.4.x 10.7.x	
②	DS内で新規Excelを開くとシート名が“シート”で指定しているためエラーとなる。	10.3.0.2	10.3.0.7で修正対応済み
③	SetCurrentWindowステップにてウィンドウ設定に「名前がありません」が指定されているためエラーとなる。	10.3.0.2	10.3.0.7で修正対応済み
④	DAにてOpenステップを使用してアプリケーションをオープンした時に、アプリケーションがアクティブ状態とならない場合があり、その場合に利用している後続ステップによってはエラーとなる可能性がある（利用しているステップによってはエラーにならない場合もあり）。 (v11.1.xではウィンドウステップも同事象)	10.2.0.3 10.3.x 10.4.0.4 10.7.0.4 11.1.0.4	

※DesignStudioの日本語版を使用する場合。

※各事象の詳細については、Appendixの11.1.0.6へバージョンアップ時のロボットへの影響をご確認下さい。

※検証内容は、スキルトレーニングでよく利用される36ステップを対象としています。

## 10.2.0.3からの11.1.0.6へバージョンアップ時のロボットの影響について

Ver.10.2.0.3で作成されたロボットをVer.11.1.0.6に移行した場合の影響は下記が該当します。事象の概要については「1-1. v11.1.0.6へバージョンアップ時のロボットへの影響」を、各事象の詳細については「1-7.移行時の影響詳細」を参照ください。

※検証内容は、スキルトレーニングでよく利用される36ステップを対象としています。

移行元バージョン		11.1.0.6 (GA)	対応方法
		日本語版	
10.2.0.3	英語版	影響あり ④	<英語版→日本語版へ移行時> ④移行元バージョンでDAのOpenステップを使用している場合は、Excelファイルを開いた後、クリックステップ等でアクティブにする。または、「ファイル名を指定して実行」でExcelファイルを開く。

## 10.3.0.2からの11.1.0.6へバージョンアップ時のロボットの影響について

Ver.10.3.0.2で作成されたロボットをVer.11.1.0.6に移行した場合の影響は下記が該当します。事象の概要については「1-1. v11.1.0.6へバージョンアップ時のロボットへの影響」を、各事象の詳細については「1-7.移行時の影響詳細」を参照ください。

※検証内容は、スキルトレーニングでよく利用される36ステップを対象としています。

移行元バージョン		11.1.0.6 (GA)	対応方法
		日本語版	
10.3.0.2	日本語版	影響あり ①②③④	<日本語版→日本語版へ移行時> ①移行元または、移行先バージョンで、読み取り専用で開いたExcel(View As Excel)に対して「Set Current Window」を行う場合は、ウィンドウ名のリストからウィンドウ番号を設定する。 例：「ウィンドウ #2 (View) 」 ②ファインダーでExcelのシート名に「シート」を設定している場合は、「sheet」に変更する必要あり。 ③SetCurrentWindowステップにてウィンドウ設定に「名前がありません」を設定している場合は、「Unnamed」に変更する必要あり。 ④移行元バージョンでDAのOpenステップを使用している場合は、ウィンドウステップに変更後にExcelファイルを開いた後、クリック ステップ等でアクティブにする。または、「ファイル名を指定して実行」でExcelファイルを開く。
	英語版	影響あり ④	<英語版→日本語版へ移行時> ④移行元バージョンでDAのOpenステップを使用している場合は、Excelファイルを開いた後、クリック ステップ等でアクティブにする。または、「ファイル名を指定して実行」でExcelファイルを開く。

# 10.3.0.7からの11.1.0.6へバージョンアップ時のロボットの影響について

Ver.10.3.0.7で作成されたロボットをVer.11.1.0.6に移行した場合の影響は下記が該当します。事象の概要については「1-1. v11.1.0.6へバージョンアップ時のロボットへの影響」を、各事象の詳細については「1-7.移行時の影響詳細」を参照ください。

※検証内容は、スキルトレーニングでよく利用される36ステップを対象としています。

移行元バージョン		11.1.0.6 (GA)	対応方法
		日本語版	
10.3.0.7	日本語版	影響あり ①④	<日本語版→日本語版へ移行時> ①移行元または、移行先バージョンで、読み取り専用で開いたExcel(View As Excel)に対して「Set Current Window」を行う場合は、ウィンドウ名のリストからウィンドウ番号を設定する。 例：「ウィンドウ#2 (View) 」 ④移行元バージョンでDAのOpenステップを使用している場合は、ウィンドウステップに変更後にExcelファイルを開いた後、クリック ステップ等でアクティブにする。または、「ファイル名を指定して実行」でExcelファイルを開く。
	英語版	影響あり ④	<英語版→日本語版へ移行時> ④移行元バージョンでDAのOpenステップを使用している場合は、Excelファイルを開いた後、クリック ステップ等でアクティブにする。または、「ファイル名を指定して実行」でExcelファイルを開く。



# 10.4.0.4からの11.1.0.6へバージョンアップ時のロボットの影響について

Ver.10.4.0.4で作成されたロボットをVer.11.1.0.6に移行した場合の影響は下記が該当します。事象の概要については「1-1. v11.1.0.6へバージョンアップ時のロボットへの影響」を、各事象の詳細については「1-7.移行時の影響詳細」を参照ください。

※検証内容は、スキルトレーニングでよく利用される36ステップを対象としています。

移行元バージョン		11.1.0.6 (GA)	対応方法
		日本語版	
10.4.0.4	日本語版	影響あり ①④	<日本語版→日本語版へ移行時> ①移行元または、移行先バージョンで、読み取り専用で開いたExcel(View As Excel)に対して「Set Current Window」を行う場合は、ウィンドウ名のリストからウィンドウ番号を設定する。 例：「ウィンドウ#2 (View) 」 ④移行元バージョンでDAのOpenステップを使用している場合は、ウィンドウステップに変更後にExcelファイルを開いた後、クリック ステップ等でアクティブにする。または、「ファイル名を指定して実行」でExcelファイルを開く。
	英語版	影響あり ④	<英語版→日本語版へ移行時> ④移行元バージョンでDAのOpenステップを使用している場合は、Excelファイルを開いた後、クリック ステップ等でアクティブにする。または、「ファイル名を指定して実行」でExcelファイルを開く。

# 10.7.0.4からの11.1.0.6へバージョンアップ時のロボットの影響について

Ver.10.7.0.4で作成されたロボットをVer.11.1.0.6に移行した場合の影響は下記が該当します。事象の概要については「1-1. v11.1.0.6へバージョンアップ時のロボットへの影響」を、各事象の詳細については「1-7.移行時の影響詳細」を参照ください。

※検証内容は、スキルトレーニングでよく利用される36ステップを対象としています。

移行元バージョン		11.1.0.6 (GA)	対応方法
		日本語版	
10.7.0.4	日本語版	影響あり ①④	<日本語版→日本語版へ移行時> ①移行元または、移行先バージョンで、読み取り専用で開いたExcel(View As Excel)に対して「Set Current Window」を行う場合は、ウィンドウ名のリストからウィンドウ番号を設定する。 例：「ウィンドウ#2 (View) 」 ④移行元バージョンでDAのOpenステップを使用している場合は、ウィンドウステップに変更後にExcelファイルを開いた後、クリック ステップ等でアクティブにする。または、「ファイル名を指定して実行」でExcelファイルを開く。
	英語版	影響あり ④	<英語版→日本語版へ移行時> ④移行元バージョンでDAのOpenステップを使用している場合は、Excelファイルを開いた後、クリック ステップ等でアクティブにする。または、「ファイル名を指定して実行」でExcelファイルを開く。

# 11.1.0.4からの11.1.0.6へバージョンアップ時のロボットの影響について

Ver.11.1.0.4で作成されたロボットをVer.11.1.0.6に移行した場合の影響は下記が該当します。事象の概要については「1-1. v11.1.0.6へバージョンアップ時のロボットへの影響」を、各事象の詳細については「1-7.移行時の影響詳細」を参照ください。

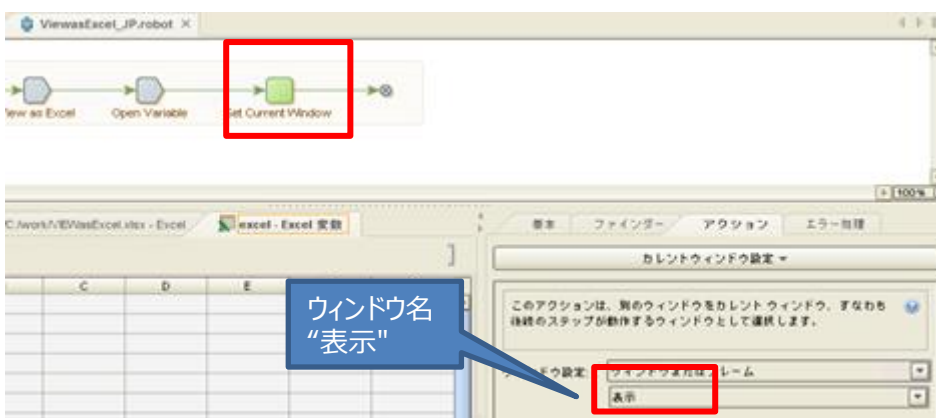
※検証内容は、スキルトレーニングでよく利用される36ステップを対象としています。

移行元バージョン		11.1.0.6 (GA)	対応方法
		日本語版	
11.1.0.4	日本語版	影響あり ④	<日本語版→日本語版へ移行時> ④移行元バージョンでDAのOpenステップを使用している場合は、ウィンドウステップに変更後にExcelファイルを開いた後、クリック ステップ等でアクティブにする。または、「ファイル名を指定して実行」でExcelファイルを開く。
	英語版	影響あり ④	<英語版→日本語版へ移行時> ④移行元バージョンでDAのOpenステップを使用している場合は、Excelファイルを開いた後、クリック ステップ等でアクティブにする。または、「ファイル名を指定して実行」でExcelファイルを開く。

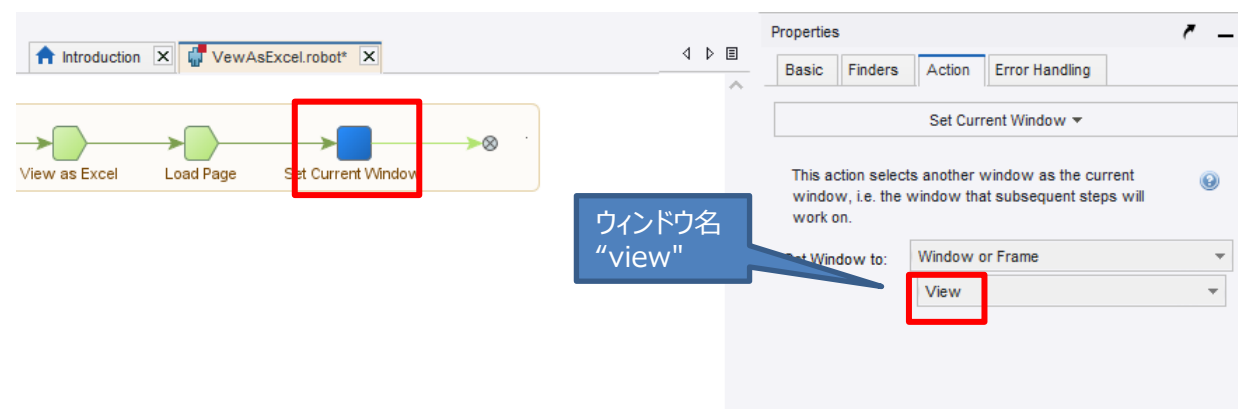
# 移行時の影響詳細 事象①

事象①	詳細
View As Excelに対して行ったカレントウィンドウ設定(Set Current Window)ステップにてエラー	読み取り専用で開いたExcel(View As Excel)に対して「Set Current Window」を行った際に、「Set Current Window」ステップのウィンドウ名称にはv11では「View」に変更となった。10.3.xから10.7.xの日本語版DSでは「表示」となっているため、対象のバージョンのロボットを11.1.0.6に移行した場合エラーとなる。 v11.1.0.6ではView As Excelのウィンドウ名に「View」がデフォルトで設定される 10.3.xから10.7.xの日本語版ではView As Excelのウィンドウ名に「表示」がデフォルトで設定される

## v10.3.x~v10.7.x



## v11.1.0.6



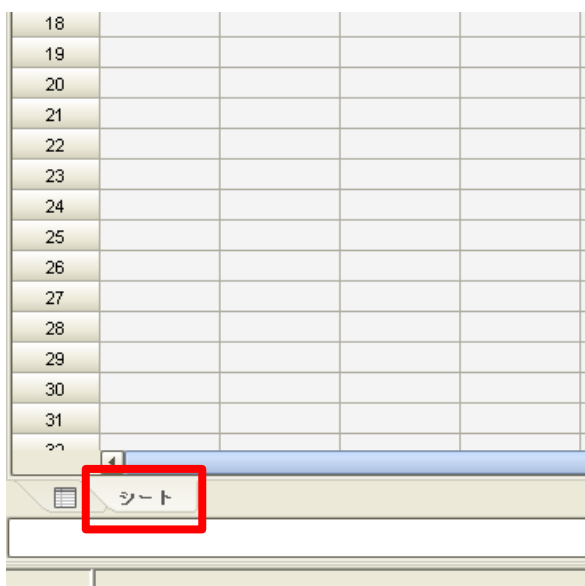
### 対応方法

ウィンドウ名のリストからウィンドウ番号を設定する。  
例：「Window #1 (View) 」

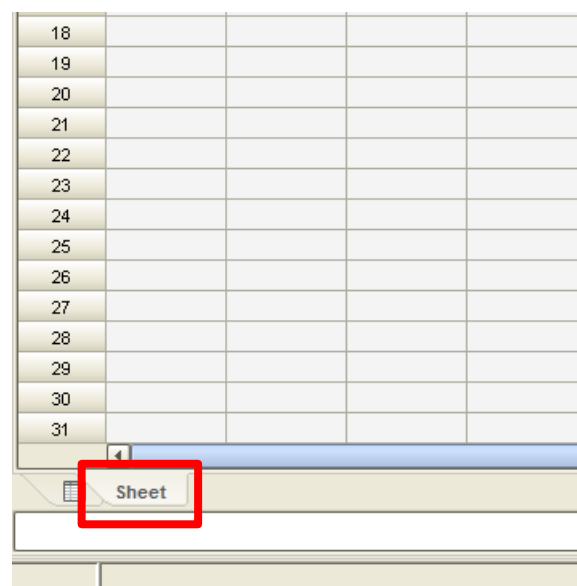
# 移行時の影響詳細 事象②

事象②	詳細
セルのコンテンツ設定(Set Content of Cell)ステップにてエラー	Ver10.3.0.2のDS内で新規Excelを開くとシート名が“シート”となっているため、10.3.0.7以降のバージョンでロボットを実行するとシート名が異なり、設定先のシートが特定できずエラーとなる。 10.3.0.2のシート名は“シート” 10.3.0.7以降はのシート名は“Sheet”

## Ver 10.3.0.2



## Ver 10.3.0.7以降



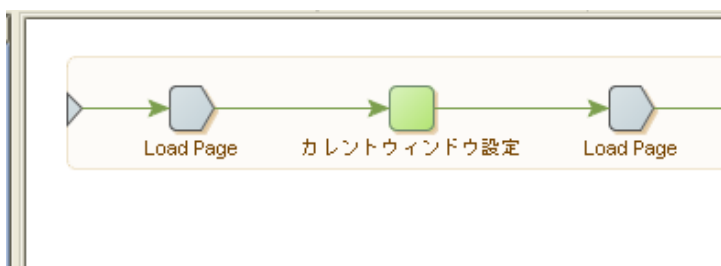
### 対応方法

ファインダーに設定しているシート名を“Sheet”に変更する。

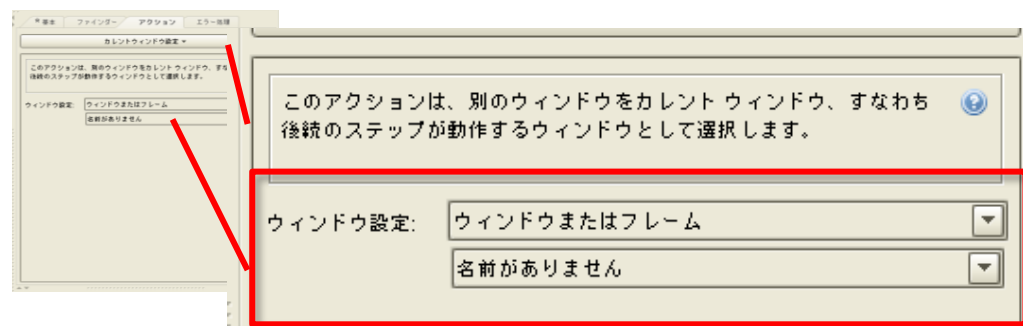
# 移行時の影響詳細 事象③

事象③	詳細
カレントウィンドウ設定(Set Current Window)ステップにてエラー	Load Page アクションの前段に Set Current Window アクションが自動で生成されるが、10.3.0.2ではウィンドウ設定に“名前がありません”が設定されており、10.3.0.7以降のバージョンでロボット実行するとエラーとなる。 10.3.0.2は「名前がありません」 10.3.0.7以降は、「unnamed」

## Ver 10.3.0.2



## アクションタブ

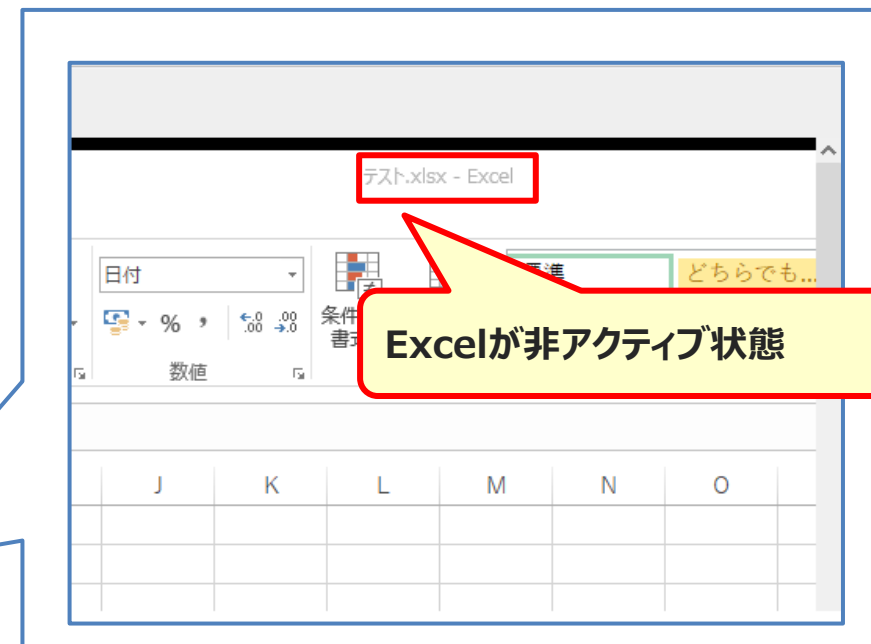
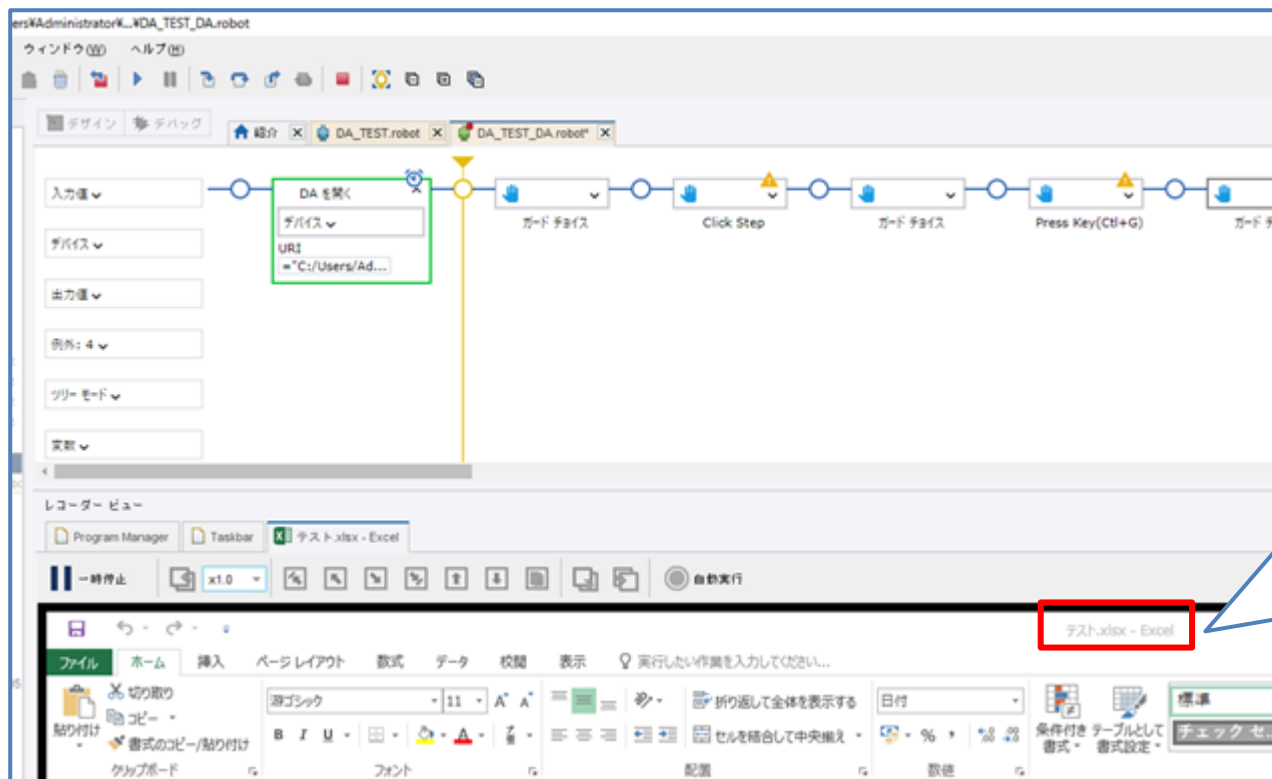


### 対応方法

カレントウィンドウ設定のウィンドウ設定を“名前がありません”を正しいウィンドウ名に変更する。

# 移行時の影響詳細 事象④ 1/3

事象④	詳細
DAワークフローのOpenステップの後続ステップにてエラー	DAワークフローでOpenステップを利用してExcelファイルを起動した場合、Excelが非アクティブになり、次のステップでエラーとなる。

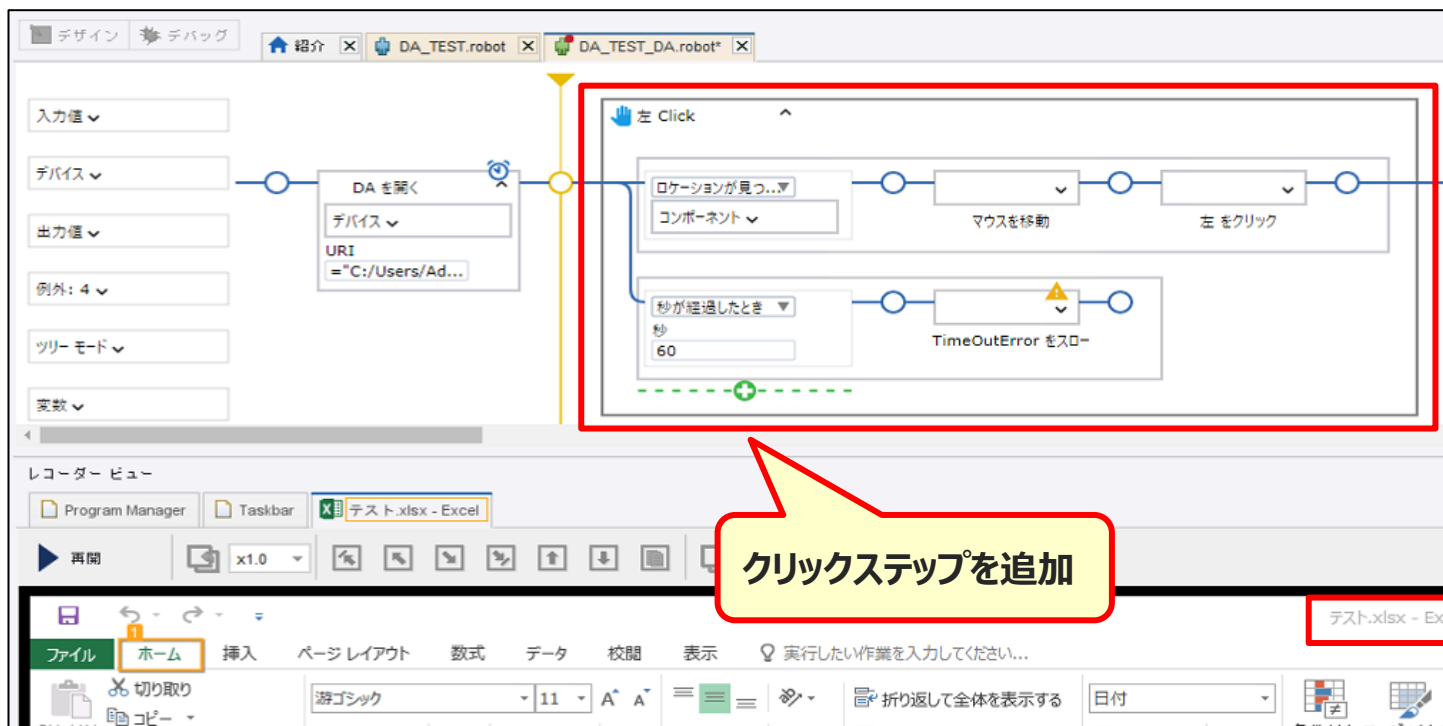


# 移行時の影響詳細 事象④ 2/3

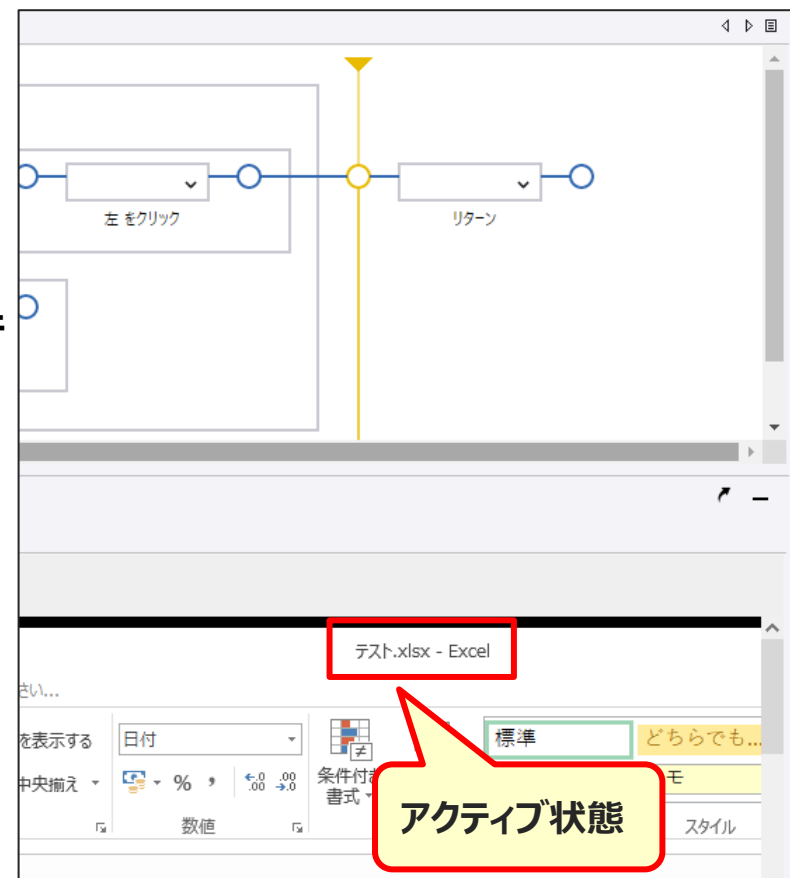
## 対応方法

①

Excelファイルを開いた後、クリック ステップ等を追加してアクティブにする。



ステップ実行





# 移行時の影響詳細 事象④ 3/3

## 対応方法

②

「ファイル名を指定して実行」を利用して、Excelファイルを開く。

キー プレス ステップにて“Win + R”を押す  
(計算キーにて設定)  
→ 「ファイル名を指定して実行」が起動



テキストを入力 または テキストの置き換えで  
開きたいExcelファイルを指定

アクティブ状態

- 
1. 11.1.0.6について
  2. バージョンアップ時のロボットへの影響について
  3. **既知の事象について**

# 11.1.0.6既知の事象と顧客への影響について (1/2)

## 11.1.0.6において下記の事象が発生することが判明しています。

対象	事象	影響度	解消	回避策	
1	MC	ログビューのDASメッセージに表示されている時刻は、UTC（協定世界時）で表示されています。日本時間に変換するには9時間を加える必要があります。(v10.7.xから発生)	小	未決	有り
2	MC	ログビューのフィルター設定に時間を設定することができません。	小	未決	無し
3	MC	「ユーザーおよびグループ」タブの「ユーザー」リストで「電子メール」値が表示されません。ユーザー登録時に設定した電子メールの情報は保持されています。ユーザーの編集画面で確認できます。	小	未決	有り
4	MC	[スケジュールの編集]ダイアログを開くと、スケジュールサイクルの単位は、分または時間で登録した場合でも、常に秒で表示されます。	小	未決	無し
5	MC	「DatabaseDriver」と「KTAssetting」の削除ボタンをクリックすると、警告ダイアログが表示されずに設定から削除されます。	小	未決	無し
6	MC	権限の「パスワードストアクライアント」は、v11.1MCで旧バージョンのバックアップからの復元時にプロジェクトとグループの設定が解除されます。復元後にユーザグループとプロジェクトの権限を再設定が必要です。	小	未決	有り
7	MC	ロボットAをコピーしてロボットBを作成し無変更でMCへアップロードした場合、ロボットAとロボットBはMC上で同じアクセストークンが設定されます。アクセストークンが同一である場合、パスワードストアに設定された内容がロボットAとロボットBで利用できる状態となります。またRFSでアクセストークンで利用許可を設定した場合、ロボットAとロボットBのどちらも利用できる状態となります。ロボットをコピーして利用される場合はご注意ください。コピー元またはコピー後のロボットに変更を加えることで別のアクセストークンが設定されます。	小	未決	有り
8	MC	LDAP連携をして環境を構築した場合、以下の事象が発生することから利用を推奨できません。MC上で変更した設定がMCの画面上に反映されません。MCにログインしたユーザと違うユーザとしてMCの画面が表示されます。ユーザ名称やMCのメニューが正しく制御されません。	小	未決	無し

# 11.1.0.6既知の事象と顧客への影響について (2/2)

	対象	事象	影響度	解消	回避策
9	新Kapplets	新Kappletsでバックアップファイルからユーザとグループを復元すると、ユーザとグループの紐づきが解除される場合があります。バックアップからデータ復元後、新Kappletsでユーザとグループの再設定を行う必要があります。	小	未決	有り
10	新Kapplets	ライセンスの上限ユーザーを超えるユーザーがいるバックアップデータを新Kappletsで復元する場合、スーパーユーザー（管理者）でも数制限のためKappletsにログインできなくなります。Kappletsのユーザ数制限のないライセンスが発行される予定です。v10.xからのバージョンアップのお客様についてはライセンスの切り替えが必要となります。	中	未決	有り
11	新Kapplets	新Kappletsではロボット実行後に停止ボタンが存在しますが、新Kappletsで停止ボタン押下すると、新Kappletsの画面ではロボットの実行が正常に停止したように見えているにもかかわらず、実際にはロボットの実行は停止していません。そのため新Kappletsで実行したロボットを停止する場合は、MC側にて停止する必要があります。	中	未決	有り
12	新Kapplets	Kappletを新規作成時に名前と説明を入力後にワークスペースを選択した場合、名前と説明がワークスペースの名前と説明で上書きされます。ワークスペース選択後にKappletの名前を説明を入力することで任意の入力が可能です。	小	未決	有り
13	新Kapplets	新Kappletsではスケジュール実行の提供はありません。(v10.xではスケジュール実行が可能)	小	未決	無し
14	DA	DAワークフローでウィンドウステップを利用してExcelファイルを起動した場合、Excelが非アクティブになり、後続ステップでエラーとなる場合があります。(ウィンドウステップはv11より登場)	中	未決	有り
15	DS	ステップの設定で、エクスプレッション内の関数を表示した時に、表示される関数のリストが見切れている。画面の解像度にもよるが、画面に表示できていない関数のリストが存在します。(v10.4.xから発生)発生する解像度の例：1600*900	小	未決	無し
16	MC	新KappletsからKappletを実行した場合、MCのタスクビューにロボットの実行状況は表示されません。本機能(Kappletから実行した際にタスクビューに実行状況が表示されない)は未実装であり、今後のバージョンで改めての実装される予定です。Kappletからのロボットの実行状況は、MCの管理 > RoboServerの画面で確認することができます。	小	未決	有り

# 11.1.0.6 既知の事象詳細

項番1：ログビューにおいて、DASメッセージに表示されているDASの日付及びログの日付は、UTC(協定世界時)で表示されます。表示された時刻に9時間加えることで他のログの表示時間と揃います。

**DASの日付 (UTC)** → **実際の時間 (日本標準時)**  
2020-11-25 **06:19:03.075** → 2020-11-25 **15:19:03.075**  
**ログの日付**  
2020-11-25 **06:19:03.078** → 2020-11-25 **15:19:03.078**

	DASの日付	ログの日付	重要度							
⋮	2020-11-25 06:19:03.075	2020-11-25 06:19:03.078	情報	192.168.205.41	Administrator	35505-16889-5148f67da4d	rfs漢字確認	disconnect	v111	
⋮	2020-11-25 06:19:01.779	2020-11-25 06:19:01.791	情報	192.168.205.41:49998	LSYNCRQ0010-36\Administrator	35505-16889-5148f67da4d	rfs漢字確認	connect	v111	
⋮	2020-11-25 05:19:02.966	2020-11-25 05:19:02.969	情報	192.168.205.41:49998	LSYNCRQ0010-36\Administrator	35474-16824-5148f67da4d	rfs漢字確認	disconnect	v111	
⋮	2020-11-25 05:19:01.638	2020-11-25 05:19:01.654	情報	192.168.205.41:49998	LSYNCRQ0010-36\Administrator	35474-16824-5148f67da4d	rfs漢字確認	connect	v111	
⋮	2020-11-25 04:19:03.091	2020-11-25 04:19:03.095	情報	192.168.205.41:49998	LSYNCRQ0010-36\Administrator	35444-16762-5148f67da4d	rfs漢字確認	disconnect	v111	
⋮	2020-11-25 04:19:01.763	2020-11-25 04:19:01.780	情報	192.168.205.41:49998	LSYNCRQ0010-36\Administrator	35444-16762-5148f67da4d	rfs漢字確認	connect	v111	
⋮	2020-11-25 03:19:03.294	2020-11-25 03:19:03.298	情報	192.168.205.41:49998	LSYNCRQ0010-36\Administrator	35414-16700-5148f67da4d	rfs漢字確認	disconnect	v111	
⋮	2020-11-25 03:19:01.982	2020-11-25 03:19:01.997	情報	192.168.205.41:49998	LSYNCRQ0010-36\Administrator	35414-16700-5148f67da4d	rfs漢字確認	connect	v111	
⋮	2020-11-25 02:19:03.060	2020-11-25 02:19:03.064	情報	192.168.205.41:49998	LSYNCRQ0010-36\Administrator	35384-16639-5148f67da4d	rfs漢字確認	disconnect	v111	
⋮	2020-11-25 02:19:01.763	2020-11-25 02:19:01.779	情報	192.168.205.41:49998	LSYNCRQ0010-36\Administrator	35384-16639-5148f67da4d	rfs漢字確認	connect	v111	
⋮	2020-11-25 01:19:03.028	2020-11-25 01:19:03.033	情報	192.168.205.41:49998	LSYNCRQ0010-36\Administrator	35355-16580-5148f67da4d	rfs漢字確認	disconnect	v111	

# 11.1.0.6 既知の事象詳細

項番2：ログビューのフィルター設定に時間を設定することができません。

## V10.7.0.4

ログビュー

ログを選択

スケジュール実行

エラー > ▼

スケジュール名 次を含む ▼

実行 ID > ▼

プロジェクト名 すべて ▼

開始 開始: 2020-11-24 00:00:00.000

終了: 2020-11-25 23:59:59.000

停止 開始:

終了:

MC サーバー 次を含む ▼

警告 > ▼

ページごとの結果: 40 ▼

列を増やす リセット 更新

V10.7.0.4では時間の指定が可能

## V11.1.0.6

列フィルタ

エラー ▼

実行 ID ▼

開始 開始: 2020/11/23 終了: 2020/11/25

停止 開始: 終了:

MC サーバー ▼

キュー時間 ▼

合計時間 ▼

警告 ▼

情報 ▼

スケジュール ID ▼

結果 ▼

キャンセル OK

V11.1.0.6では時間の指定は不可

# 11.1.0.6 既知の事象詳細

項番3 : 「ユーザーおよびグループ」タブの「ユーザー」リストで「電子メール」値が表示されません。ユーザー登録時に設定した電子メールの情報は保持されています。ユーザーの編集画面で確認できます。

ユーザーおよびグループ

ユーザー      グループ

	ユーザー名	フルネーム	電子メール	ログイン カウント	前回のログイン	最後の IP アドレス	グループ
<input type="checkbox"/>	admin			93059	2020/11/25 17:54:03	192.168.205.40	
<input type="checkbox"/>	testuser01	Test User01		44	2020/11/25 17:27:10	192.168.205.40	テストグループ01
<input type="checkbox"/>	testuser02	テスト ユーザ 0 2		0			
<input type="checkbox"/>	testuser03	テスト ユーザ 0 3		0			
<input type="checkbox"/>	testuser04	testuser04					
<input type="checkbox"/>	testuser05	testuser05		0			
<input type="checkbox"/>	testuser15	testuser15		2			

ユーザーを編集

ユーザー名  
testuser15

パスワード  
\*\*\*\*\*

パスワードを再入力してください  
\*\*\*\*\*

フルネーム  
testuser15

電子メール  
testuser15@sample.com

テストグループ01      グループの選択

キャンセル      OK

ユーザ編集画面では電子メールの情報は保持されています。

# 11.1.0.6 既知の事象詳細

項番4：作成済みの[スケジュールの編集]ダイアログを開くと、スケジュールサイクルの単位が常に秒で表示されます。

## スケジュール登録時

基本 詳細 スケジュールされたジョブ

スケジュール名  
Schedule

アクティブ  シンプル  cron

繰り返し間隔  
1

開始時間 (ローカル時間)  
17:20 2020/12/16

ジョブの優先順位  
中

ジョブのタイムアウト  
10 分

前処理ロボット

キャンセル OK

## スケジュール編集時

基本 詳細 スケジュールされたジョブ

スケジュール名  
Schedule

アクティブ  シンプル  cron

繰り返し間隔  
3600 秒

開始時間 (ローカル時間)  
17:20 2020/12/16

ジョブの優先順位  
中

ジョブのタイムアウト  
10

前処理ロボット

キャンセル OK



## 11.1.0.6 既知の事象詳細

項番6：権限の「パスワードストアクライアント」は、v11.1.0.6MCで旧バージョンのバックアップからの復元時にプロジェクトとグループの設定が解除されます。復元後にユーザグループとプロジェクトの権限を再設定が必要です。

### v10.7.0.4

BackUpRestore1 の編集

基本 権限 サービス リポジトリ

BackUpRestore1 で定義された権限

プロジェクトロール	セキュリティグループ	削除
API	api	
DAS Client User	das client user	
Developer	developer	
Kaplet Administrator	kaplet administrator	
Kaplet User	kaplet user	
<b>Password Store client</b>	<b>passsword store client</b>	
Process Discovery Client	process discovery client	
Project Administrator	project administrator	
RoboServer	robo server	
VCS Service User	vcs service user	
Viewer	viewer	

プロジェクトに「Password Store Client」として割り当てられている

保存 キャンセル

### v11.1.0.6

プロジェクト BackUpRestore1 を編集

基本 権限 サービス リポジトリ

API	api	
DAS Client User	das client user	
Developer	developer	
Kaplet Administrator	kaplet administrator	
Kaplet User	kaplet user	
<b>プロジェクトロール</b>	<b>passsword store client</b>	
Process Discovery Client	process discovery client	
Project Administrator	project administrator	
RoboServer	robo server	
VCS Service User	vcs service user	
Viewer	viewer	

バックアップファイルをリストア後プロジェクトからロールの設定が解除されている

キャンセル OK

# 11.1.0.6 既知の事象詳細

項番7：ロボットAをコピーしてロボットBを作成し、変更せずMCへアップロードした場合、ロボットAとロボットBが異なるプロジェクトであっても、MC上で同じアクセストークンが設定されます。

The screenshot displays the KOFAX RPA Management Console interface. On the left is a navigation menu with options like 'スケジュール', 'リポジトリ', 'ロボット', 'タイプ', 'スニペット', and 'リソース'. The main area shows a table of robots with columns for 'フォルダ', '名前', 'タイプ', 'プロジェクト名', 'タグ', and 'バージョン...'. Two robots are listed: 'Access token1' in the 'Default project' and 'Access token1\_copy' in the 'Sample project'. Both have the same version '11.1.0.0'. Below the table, two 'パスワード アクセス エントリ' (Password Access Entry) dialog boxes are shown. The first dialog is for 'Default project' and the second is for 'Sample project'. Both dialogs show the same 'パスワード アクセストークン' (Password Access Token) value: 'BCko05AH4f+wXSS7aG7nEzT7anl='. A yellow callout box with a red border points to this token field in both dialogs, containing the text '同じアクセストークンが設定されている' (The same access token is set).

	フォルダ	名前	タイプ	プロジェクト名	タグ	バージョン...
<input type="checkbox"/>	Samples/	Access token1	robot	Default project	タグ	11.1.0.0
<input type="checkbox"/>	Samples/	Access token1_copy	robot	Sample project	タグ	11.1.0.0

パスワード アクセス エントリ

プロジェクト: Default project

パスワード アクセストークン: BCko05AH4f+wXSS7aG7nEzT7anl=

説明: Access token1

パスワード エントリ

閉じる OK

パスワード アクセス エントリ

プロジェクト: Sample project

パスワード アクセストークン: BCko05AH4f+wXSS7aG7nEzT7anl=

説明: Access token1\_copy

パスワード エントリ

閉じる OK

同じアクセストークンが設定されている

## 11.1.0.6 既知の事象詳細

項番10 : Kappletsでは、ライセンスのユーザ数を超えて作成されたユーザはログインできません。  
Kappletsのユーザ数制限のないライセンスが発行される予定です。  
v10.xからのバージョンアップのお客様についてはライセンスの切り替えが必要になります。

The screenshot displays the login interface for KOFAX RPA Kapplets. At the top left, the logo 'KOFAX RPA Kapplets' is visible. The main content area features a login form with the heading 'ログインしてください' (Please log in). Below this heading are two input fields: 'ユーザー名' (Username) and 'パスワード' (Password), followed by a blue 'ログイン' (Login) button. A red-bordered callout box on the right contains the text: 'ユーザ数の制限を超えている場合、エラーとなりログイン不可' (If the user limit is exceeded, an error will occur and login will be impossible). A red-bordered box highlights an error message in the center: 'ライセンスで許容されている一意のユーザー数の上限に達しました。管理者に連絡してください。' (The limit of unique users allowed by the license has been reached. Please contact the administrator.). At the bottom center, the text reads: 'Powered by Kofax RPA™ Kapplets 11.1.0.4.448'.

# 11.1.0.6 既知の事象詳細

項番11 : Kapplet実行中に、「キャンセル」ボタンを押してもロボットの実行はキャンセルされません。

The screenshot shows the KOFAX RPA interface. On the left is a navigation menu with items: Kapplet, テンプレート, 履歴, ユーザー, ユーザーグループ, ワークスペース, データベース. The main area displays details for a Kapplet named 'テンプレ-1をつかったカプレット 1'. It shows a 'キャンセル' button in the top right. Below this, a table shows execution details for the Kapplet, with the status 'キャンセル'.

キャンセル押下後、メッセージはロボットを停止したように見える。

テンプレ-1をつかったカプレット 1  
開始時間: 2020/11/24 17:42:01 実行時間: 00:00:03 現在のステータス: キャンセル

MCで確認するとロボットは実行中のままとされており、実行はキャンセルされていない。

Production で実行されているロボット

ロボット名	サーバー	プロジェクト名	ロボット URL	開始時間クライア...	実行 ID	現在のステータス	ステータス
⋮ 待機	192.168.205.40:5000	Default project	Library:/202009/待機	11/24/20, 5:42 PM	2175f9633c50	Wait	実行中

## 11.1.0.6 既知の事象詳細

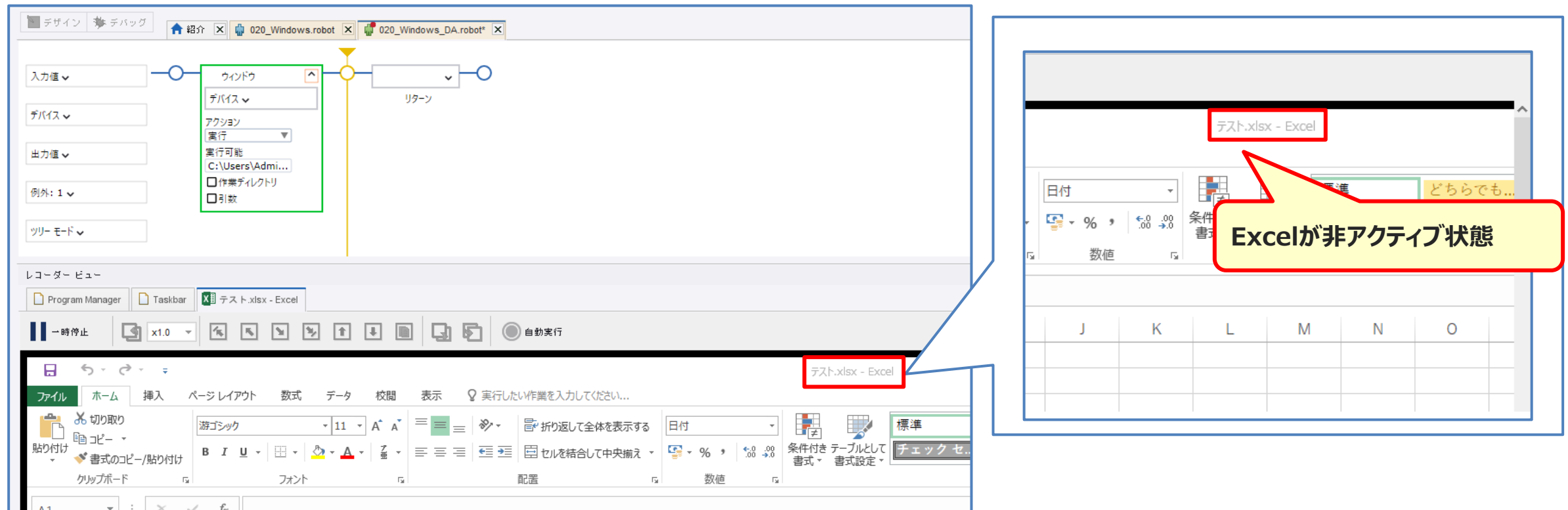
項番12：Kappletを新規作成時に名前と説明を入力後にワークスペースを選択した場合、名前と説明がワークスペースの名前と説明で上書きされます。ワークスペースを選択後に再設定してください。

The image displays three sequential screenshots of the KOFAX RPA interface during the creation of a new Kapplet. The interface is titled '新しい Kapplet の作成' (Create New Kapplet).

- First Screenshot:** The '名前' (Name) field contains 'TESTKapplet' and the '説明' (Description) field contains 'テスト用カプレット'. A yellow box highlights the '名前と説明を入力' (Enter Name and Description) option in the left sidebar.
- Second Screenshot:** The 'ワークスペース' (Workspace) field is selected. The '名前' field is updated to 'テンプレート1.0' and the '説明' field is updated to 'テスト用カプレット'. A yellow box highlights the 'ワークスペース' field with the text 'テンプレートを入力' (Enter Template).
- Third Screenshot:** The 'ワークスペース' field is set to 'test01 project'. The '名前' field is updated to 'テンプレート1.0' and the '説明' field is updated to 'テンプレート1.0の説明'. A yellow box highlights the '名前' and '説明' fields with the text 'Kappletの名前と説明がテンプレートの内容に変更される' (The Kapplet's name and description are changed to the content of the template).

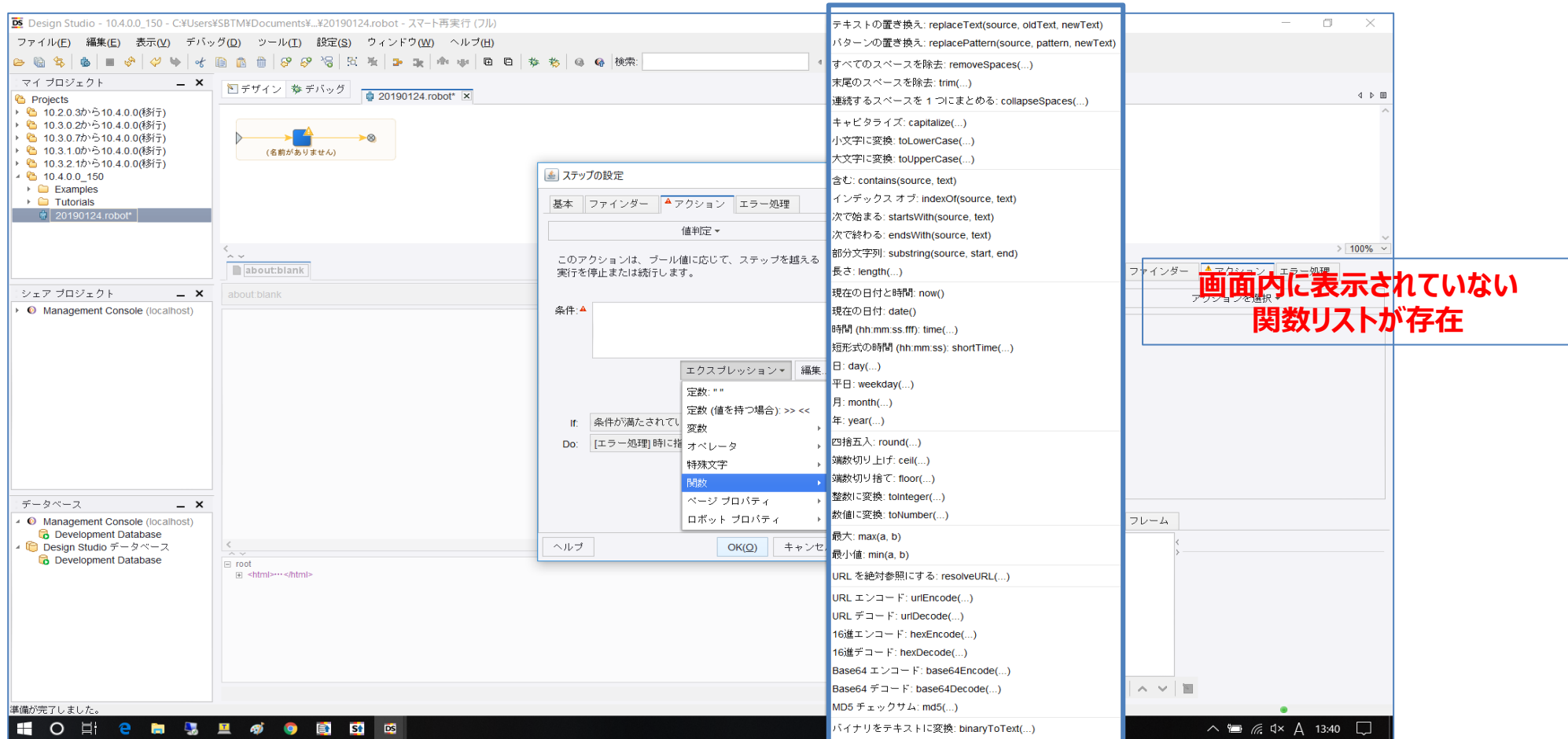
# 11.1.0.6 既知の事象詳細

項番13 : DAワークフローでウィンドウステップを利用してExcelファイルを起動した場合、Excelが非アクティブになり、次のステップでエラーとなります。



# 11.1.0.6 既知の事象詳細

項番14 : <対応策> 現状は無し。ただし上下矢印キーで見えないリストを選択することは可能です。



SoftBank